



ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute (RLI)

インスティテュート

〈目 的〉

1、これからのロータリーへ

新たな気付きと展望をともに創って行く

2、ロータリー観の確立を目指す

3、RLI の学習スタイルの定着とファシリテーターの養成



〈内 容〉

パートⅠ ロータリアンとしての私

パートⅡ 私たちのクラブ

パートⅢ 私のロータリーの旅

それぞれ 6 セッション (1 セッション 50 分)

3 日間に渡り開催されます。



RLI はなぜ生まれたのか？

ロータリー創設後 100 年を経て近年、社会構造も変化し、何よりも人や社会に対する意識が変わってきています。特に事業や職業の世界が激変しています。

ロータリーは、変わってきた価値観や社会意識の違いを埋めて、これからのロータリーを展望するために世代や経験を超えた深い話し合いの場が求められています。



私達はなぜ話し合うのか？

私達が話し合うのは、「問題に対して答えが欲しい時」です。

ひとりでは手に追えない問題を抱えたり、どうしても実現し

たい理想があってもどうすればいいかわからない時です。



私たちはどのように学習するか

私たちが学習し記憶している量は

- ・ 読むことによって (10%)
- ・ 聞くことによって (20%)
- ・ 見ることによって (30%)
- ・ 見ること読むことによって (50%)
- ・ 話すことによって (80%)
- ・ 行動しながら話すことによって (90%)



RLIの学習方法（ラーニング）

RLIは2008年に日本に上陸し16年。2610地区では2017年からスタートし、8年目を迎えます。

学び方は、ラーニング学習方法で進められています。

RLIは知識を教えることが目的ではありません。学習者が受け身ではなく、自らが能動的に話し合いをしながら学びに向かう学習方法です。

ラーニングは、参加者が行うことです。そこから気づきや発見が生まれます。



RLI の目指すもの

私達ロータリアンが集まり、**多彩で多様なひとりひとりの個性に基づく智恵を集め、重ね、まぜ合わせて、これからのロータリーの展望をとともに創って行く事が RLI のめざすものです。**



2024-25RLI 研修

2024年

○RLI パートⅠ / 日 時 / 9月7日 (土)
会 場 / 石川県地場産業振興センター

○RLI パートⅡ / 日 時 / 12月7日 (土)
会 場 / 石川県地場産業振興センター

2025年

○RLI パートⅢ / 日 時 / 3月8日 (土)
会 場 / 富山県高岡市「ウイングウイング」
懇親会 / 未定



RLI 風景





RLI 風景





ファシリテーターとは

「三人寄れば文殊の知恵」と言われますが、実際には人が集うだけでは必ずしも上手くいきません。ファシリテーターとは「三人寄れば文殊の知恵を実現する4人目の役割です。」

個性的で能力の高い人が集まってもそれだけでは良い知恵は生まれません。環境を整えて、集まった人が持てる力を存分に発揮できるようにするのがファシリテーターの役目です。



RLI 委員になろう

**RLI 委員会に参加し、ファシリテーションを学びませんか。
委員は、知識を伝える講師ではなく、参加者がロータリーへの
気づきと未来への展望を共有するように導くファシリテーター
(進行役)となります。**

**RLI 委員会で多くのファシリテーターが誕生し、学んだ事を
クラブに帰り、その経験を生かしクラブが一層強化される
ことを願っています。**